

平成29年度 事業報告

一般社団法人福岡大学同窓会有信会（以下「有信会」という。）は、文部省（現文部科学省）の許可を得て、本年度80周年を迎えた（昭和30年2月1日社団法人として発足し、本年度62年目を迎えた。）。

平成29年6月17日、定時代議員総会の理事会において、川畑懿子前理事長の後任に大野憲俊理事が理事長に選出され、承認された。

小石原焼陶芸家福島善三（ふくしま ぜんぞう）氏（昭和57年経済学部卒）が、平成29年秋、重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定され、母校とともに祝福した。

有信会の事業としては、例年どおり、母校への支援、会員相互の情報交換、親睦、異業種交流会等及び地域社会への公益活動事業を行った。

1 母校への支援

母校及び在学生への支援を行った。

(1) 母校及び在学生への経済的支援等

創立記念日である平成29年5月21日（日）、卒業生を母校に迎える「ホームカミングデー」の式典と講演会等を大学との共催により、母校831教室において行った。

講師 漫画家 うえやま とち氏

演題 「クッキングパパの世界観」

漫画クッキングパパの主人公のレシピを交えてのトークショー、学生の和太鼓、マンドリンクラブ、メールハーモニー部の演奏会や抽選会があり、約400人が母校での1日を楽しんだ。

母校在学生の学友会活動の援助費として150万円の支援を行った。

(2) 在学生との懇談会を行った。

同年5月10日（水）、在学生の人材育成の取組みとして、産業界などで指導的役割を果たされている多くの先輩と有意義な情報交換の場として「在学生との懇談会」天神スカイホールにおいて行った。

講師 福岡県警察学校長 原田 大助氏（昭和57年経済学部卒）

演題 「福大生に期待するもの」

学生時代の部活経験が、県警で暴力団撲滅の取組み等に生かされたことなど、失敗は潔く認め、やり直すこと。上司からの指示待ちでなく、積極進取の精神で取り組むことの大切さを在学生に向けてエールを送り、在学生、大学

来賓（役職者、部長、監督等）及び有信会会員（役員、招待者、一般会員）約400人が熱心に聞き入った。

(3) 学術文化部会60周年記念総会・式典

同年11月3日（金）、学術文化部会（34部1同好会）が、記念総会・式典を母校文系センターにおいて開催し、記念誌「松陵の風」が配付され、山口学長、大学役職者、大野理事長、役員及び各部の現役、OB等約120人の参加者が情報交換し、旧交を深めた。

(4) 陶芸家福島善三氏（昭和57年経済学部卒）人間国宝認定を祝福

350年の歴史ある小石原焼陶芸家「ちがいわ窯」16代目福島善三（ふくしま ぜんぞう）氏【本名福島善三（ふくしまよしぞう）：昭和57年経済学部卒】が、平成29年10月、重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定され、平成30年7月、母校福岡大学とともに、新聞記念特集の協賛広告掲載及び祝う会に山口学長及び大野理事長はじめ役員が、約700人の出席者と共に祝福した。

(5) 就職支援ガイダンス等を行った。

在学生と有信会会員との就職相談会、専門職有資格者による国家資格取得への支援ガイダンス等について、母校就職・進路支援センターの活動等に協力した。

2 公益活動の推進

地域社会との連携を深める。また地域福祉を含めた公益活動を実施した。

(1) 講演会の開催

平成29年6月17日（土）、ホテルニューオータニ博多において、会員大会開催当日、一般市民も参加可能な「公開講演会」を開催した。

講師 外交ジャーナリスト・作家 手嶋 龍一 氏

演題 トランプ政権の針路を探る ～日米同盟と東アジア情勢～

元NHKワシントン支局長の経験等を踏まえ、アメリカ大統領の役割や歴史を交え、トランプ政権の中国、韓国をはじめとした東アジアの戦略を分かりやすく解説し、特に、朝鮮半島、台湾海峡の地理的重要性を訴え、来賓、会員及び一般市民を含めて約700人が熱心に聞き入った。

(2) 社会福祉活動

有信ゴルフ会は、同年10月5日（木）小郡カンツリー倶楽部においてチャリティーゴルフ大会を開催し、チャリティー募金30万円を社会福祉法人明徳会児童発達支援センターゆたか学園（福岡市城南区）に寄贈した。

(3) 九州北部豪雨被災者への義援金

同年7月5日、6日、福岡県及び大分県を中心に発生した九州北部豪雨被災者への義援金10万円を母校と一緒に西日本新聞社民生事業団に寄託した。

3 事業活動の充実と会員相互の親睦強化

(1) 会員大会

平成29年6月17日(土)、ホテルニューオータニ博多において行った。
平成28年度事業報告及び決算報告を行い終了後、懇親会を開催した。

(2) レディースクラブ30周年記念式典・講演

同年10月21日(土)、ホテル日航福岡において行った。

講師 山口 政俊学長

演題 「モノづくり」と「ヒトづくり」～科学者に成りたくて!～

薬学分野の科学者として、少年時代に科学者への夢、感受性と好奇心を持ち続けることの大切さを話し、壇上で青色ダイオード発光を作る即席実験を披露し、来賓、女性会員や在学女子学生ら約100人の参加者は、鮮やかな色彩の変化に見入った。

(3) 新年賀詞交換会

平成30年1月11日(木)、天神スカイホールにおいて行った。

山口政俊学長をはじめ母校役職者等を招き、新春を祝う恒例の事業で、約200人が集った。

(4) 有信八日会

会員の懇親、情報交換、異業種交流等の目的で「有信八日会」を年間9回開催した。

通常例会は、7回(4月、7月、9月、10月、11月、2月及び3月)、8月大交流会及び忘年八日会(12月)と併せて年間参加者数は、延べ791人であった。

開催月日	卓 話 講 師	演 題
平成29年4月10日	福岡大学病院長 井上 亨 氏	脳卒中とロボットスーツ HAL
” 7月10日	田中俊彰設計室代表 田中 俊彰 氏 (工・建築 S58年卒)	自作を語る
” 8月5日	福岡市副市長 中園 政直 氏 (商二 S52年卒)	福岡市のまちづくりについて
” 9月8日	東福岡高等学校ラグビー部監督 藤田 雄一郎 氏 (体育 H7年卒)	強い組織作りとリーダーシップ
” 10月10日	株式会社竹中工務店 九州支店長 弓削 裕治 氏 (工・建築 S58年卒)	学生時代に描いた夢と入社後の経歴 今後の建設業の課題と取組
” 11月9日	福岡大学病院循環器内科 診療准教授 西川 宏明 氏 (医 H7年卒)	心臓病による突然死を防ぐには
平成30年 2月8日	福岡大学薬学部長 加留部 善晴 氏 (薬 S48年卒)	クスリと食の歴史とドラマ
” 3月8日	福岡大学経済学部長 姜 文源 氏	グローバル化と地域共同体

4 各種会議・会合の有効な運営

各種会議・会合を必要に応じ開催し、組織の活性化に努めた。

(1) 理事会

平成29年4月24日(月)、5月24日(水)、6月17日(土)、7月4日(火)、12月7日(木)及び平成30年2月6日(火)の計6回開催し、有信会活動に関連する重要事項を精査のうえ審議し、業務の円滑化に努めた。

前記の同30年2月6日理事会で、永年に亘り有信会財政基盤の安定化に貢献された功績をもって川畑懿子前理事長に名誉理事長を委嘱することを承認可決した。

(2) 定時代議員総会

平成29年6月17日(土)、ホテルニューオータニ博多において行った。
平成28年度事業報告書及び決算書類等の審議を行った。

(3) 地域・職域支部長会

上記同日、ホテルニューオータニ博多において行った。

(4) 各委員会

有信会の活動分野ごとに設けている委員会を必要に応じて開催した。

(5) 母校福岡大学との連絡会議

母校と有信会との意思疎通を図るため、必要に応じ関係役職者や関係部局と連絡会議を行うと共に、同年12月7日(木)、大学役職者と有信会役職者との連絡協議会(全体)を開催した。

5 広報活動の充実

全国の有信会会員に広報紙「有信」とホームページを通して、有信会の運営方針や活動状況、各支部の活動、母校の現況などを発信した。

(1) 広報紙「有信」

発行年月	号数	様式	ページ数	印刷部数
平成29年8月	153号	全頁カラー	12	159,000
平成30年3月	154号	全頁カラー	16	83,000

但し、終身会費未納(一部未納を含む。)の会員には、8月発行分のみ発送。

(2) ホームページ

日々情報収集に努め、タイムリーに掲載できるように努めた。また、母校情報へのアクセスが容易にできるように努めた。

6 組織の活性化

有信会を支える地域支部61、職域支部38、各学部同窓会、学年別同窓会及び学友会OB会が、各々の趣向で支部総会等を通して絆を深めた。

組織の活性化に関する各支部共通の課題は、(1) 若年同窓生及び女性会員の参加を増やす日々の努力が必要、(2) 資金確保等々であった。

地域支部においても各学部同窓会等と相互に連携することにより、若年層及び女性会員が参加しやすい企画をすると共に、異業種間の交流の促進を図る必要がある。

7 会員データベースの充実と情報管理体制の徹底

会員住所データや会員近況情報の更新等のため、日々地道な調査を続けている。特に住所変更調査は、個人情報保護法の施行に伴い、同窓会名簿の追跡調査に支障をきたすケースも増大している。

広報紙「有信」等発送後、宛先不明として返送された会員について追跡調査をしているが、判明率は芳しくない。

会員の個人情報に関する情報収集・変更・管理・保全等に関して法令順守に努めた。

8 財政基盤の強化

(1) 終身会費徴収の徹底

終身会費未納の卒業生に対し、8月発行の「有信」に終身会費納入依頼書を同封し、督促を行った。

(2) 経費節減の努力

会議や集会の通知等に郵送だけでなく、メールやFAX等を活用し、郵送費節減に努め、事業活動においても効率的な運営を行うように努めた。

平成29年度 収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A)-(B)
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 財産運用収入			
財産運用収入	62,000	81,024	-19,024
② 会費収入			
会費収入(1)	134,195,000	134,365,000	-170,000
会費収入(2)	6,000,000	5,745,000	255,000
③ 負担金収入	3,590,000	3,660,000	-70,000
④ 有信共益事業収入			
有信八日会収入	3,870,000	3,732,558	137,442
有信ゴルフ会収入	1,920,000	1,762,830	157,170
⑤ 雑収入	20,000	30,000	-10,000
事業活動収入計	149,657,000	149,376,412	280,588
2 事業活動支出			
① 事業費支出			
母校援助費支出	14,900,000	13,672,776	1,227,224
広報紙発行費支出	24,160,000	23,978,480	181,520
I T事業費支出	3,318,000	2,817,776	500,224
会員大会費支出	5,863,000	5,529,714	333,286
レディースクラブ総会支出	1,500,000	1,402,003	97,997
講演会費支出	2,945,000	2,259,382	685,618
新年賀詞交換会支出	1,662,000	1,118,537	543,463
支部援助費支出	13,380,000	11,684,232	1,695,768
有信共益事業支出			
有信八日会支出	3,870,000	3,690,877	179,123
有信ゴルフ会支出	1,920,000	1,796,580	123,420
事業費支出計	73,518,000	67,950,357	5,567,643
② 管理費支出			
給料手当支出	13,065,000	12,835,720	229,280
福利厚生費支出	2,170,000	1,904,060	265,940
退職金支出	0	775,000	-775,000
会議費支出	2,484,000	2,625,587	-141,587
旅費交通費支出	2,490,000	2,369,280	120,720
通信運搬費支出	1,170,000	856,020	313,980
消耗品費支出	700,000	584,146	115,854
印刷製本費支出	2,657,000	2,330,356	326,644
賃借料支出	870,000	857,233	12,767

(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A)-(B)
光熱費支出	200,000	185,296	14,704
支払手数料支出	250,000	152,228	97,772
公租公課	70,000	62,386	7,614
雑費支出	4,300,000	3,759,748	540,252
管理費支出計	30,426,000	29,297,060	1,128,940
事業活動支出計	103,944,000	97,247,417	6,696,583
事業活動収支差額	45,713,000	52,128,995	-6,415,995
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 退職給付引当預金取崩収入	0	3,606,000	-3,606,000
投資活動収入計	0	3,606,000	-3,606,000
2 投資活動支出			
① 特定資産引当資産支出			
退職給付引当預金支出	813,000	3,666,000	-2,853,000
② 固定資産取得支出			
事業積立金 I 繰入支出	30,000,000	30,000,000	0
什器備品取得支出	500,000	0	500,000
投資活動支出計	31,313,000	33,666,000	-2,353,000
投資活動収支差額	-31,313,000	-30,060,000	-1,253,000
III 財務活動収支の部			
1 その他の収入			
前受会費収入	102,263,000	101,010,000	1,253,000
その他の収入計	102,263,000	101,010,000	1,253,000
2 収入調整勘定支出			
前受会費調整支出	101,540,000	101,540,000	0
収入調整勘定支出計	101,540,000	101,540,000	0
財務活動収支差額	723,000	-530,000	1,253,000
IV 予備費支出	3,000,000	0	3,000,000
当期収支差額	12,123,000	21,538,995	-9,415,995
前期繰越収支差額	106,153,000	135,321,506	-29,168,506
次期繰越収支差額	118,276,000	156,860,501	-38,584,501